

2024年度

東京都立大学 大学院理学研究科

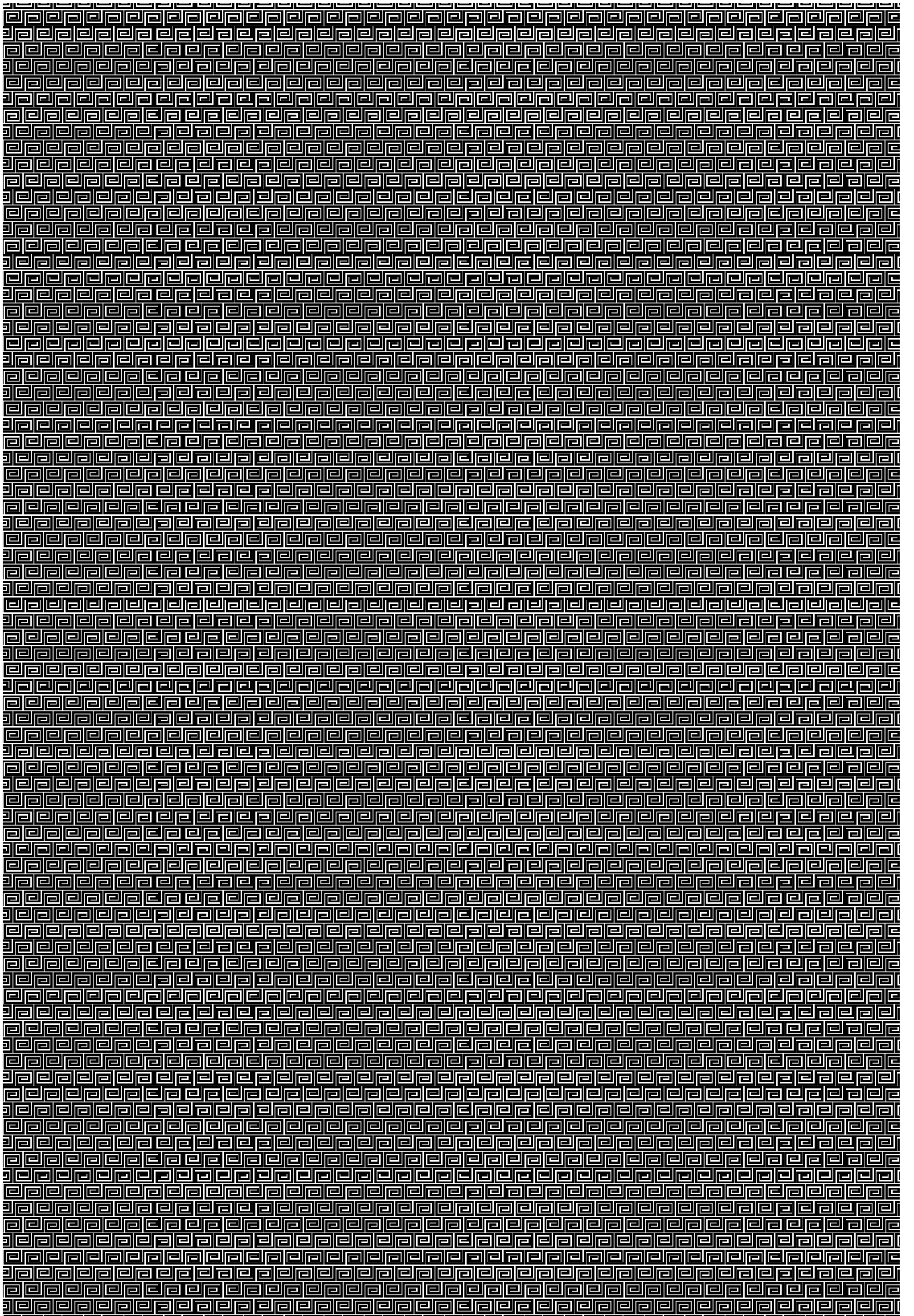
物理学専攻博士前期課程冬季入学試験問題

物理学 II (50分)

2024年2月7日(水)

11:00 ~ 11:50

**注意** 問題 (物理学 II [1], 物理学 II [2]) ごとに答案用紙各1枚を使用し, 解答は1題について1枚の答案用紙の表裏に収めよ. たとえ白紙であっても, 必ず2題分の答案用紙に受験番号と氏名を記入して提出すること.



## 大学院博士前期課程冬季入学試験問題「物理学II」

[1] 以下の問いに答えよ。結果だけでなく、求め方や計算の過程も示すこと。ただし、 $h$ をプランク定数、 $\hbar = \frac{h}{2\pi}$ 、 $i^2 = -1$ とする。

1次元調和ポテンシャル中を運動する質量  $m$  の量子力学的粒子を考える。ハミルトニアンは、位置演算子を  $\hat{x}$ 、運動量演算子を  $\hat{p}$ 、角振動数を  $\omega (> 0)$  として

$$\hat{H} = \frac{\hat{p}^2}{2m} + \frac{1}{2}m\omega^2\hat{x}^2$$

で与えられる。演算子  $\hat{a}$ 、 $\hat{N}$  を

$$\hat{a} = \sqrt{\frac{m\omega}{2\hbar}} \left( \hat{x} + i\frac{1}{m\omega}\hat{p} \right), \quad \hat{N} = \hat{a}^\dagger\hat{a}$$

と定義する。演算子  $\hat{N}$  の固有値  $\lambda$  を持つ固有状態を  $|\lambda\rangle$  とする。ただし、 $\lambda$  は 0 以上の整数である。

- 問1 演算子の座標表示  $\hat{x} = x$ 、 $\hat{p} = -i\hbar\frac{d}{dx}$  を用いて交換子  $[\hat{x}, \hat{p}]$  を計算せよ。
- 問2 交換関係  $[\hat{a}, \hat{a}^\dagger] = 1$  を示せ。
- 問3 交換子  $[\hat{N}, \hat{a}]$  を計算し、 $\hat{a}$ 、 $\hat{a}^\dagger$  の中から適切なものを使って書け。
- 問4  $\lambda \geq 1$  の場合、状態  $\hat{a}|\lambda\rangle$  が固有値  $\lambda - 1$  を持つ  $\hat{N}$  の固有状態であることを示せ。
- 問5  $\hat{N}$  の固有値が最小の状態は、 $\lambda = 0$  の状態  $|0\rangle$  で与えられる。 $\langle 0|\hat{x}|0\rangle$  を  $\hat{a}$ 、 $\hat{a}^\dagger$  を用いて計算せよ。
- 問6 座標表示の基底状態の波動関数  $\psi_0(x)$  は  $\hat{a}\psi_0(x) = 0$  を満たす。 $\psi_0(x)$  を求めよ。ただし、波動関数を規格化する必要はない。

## 大学院博士前期課程冬季入学試験問題「物理学II」

[2] 以下の問いに答えよ。結果だけでなく、求め方や計算の過程も示すこと。

つねに熱平衡状態にあるびんと張られたゴム糸を考える。ゴム糸にかかる張力の大きさを  $X$  とし、ゴム糸の長さ  $L$  を  $\Delta L$  だけ断熱的に変化させたときの内部エネルギー  $U$  の増加分を  $X\Delta L$  とする。また、ゴム糸のエントロピーを  $S$  とする。長さ  $L$  を一定に保ったときの張力の温度依存性は  $X = AT$  である。ここで  $T$  は絶対温度、 $A$  は正の実定数である。

問1 ゴム糸のヘルムホルツの自由エネルギー  $F(T, L) = U - TS$  の全微分  $dF$  が

$$dF = XdL - SdT$$

と書けることを示せ。

問2 問1の式を用いて  $\left(\frac{\partial F}{\partial T}\right)_L$  および  $\left(\frac{\partial F}{\partial L}\right)_T$  を計算せよ。

問3 温度一定のもとでゴム糸を伸ばすとエントロピーが減少する。すなわち、 $\left(\frac{\partial S}{\partial L}\right)_T < 0$  である。この式が成り立つことを示せ。

問4 温度一定のもとでは内部エネルギーがゴム糸の長さによらない。すなわち、 $\left(\frac{\partial U}{\partial L}\right)_T = 0$  である。 $U = F + TS$  に問2の結果を用いることで、この式が成り立つことを示せ。

問5 断熱的にこのゴム糸を伸ばすと、ゴム糸の温度が上昇すること、すなわち、 $\left(\frac{\partial T}{\partial L}\right)_S > 0$  を示せ。なお、ゴム糸の定積熱容量（長さを一定に保ったときの熱容量）は正の値であるとする。

